

小学校第4学年  
社会科

⑦地域の発展に尽くした人々

—倉橋ため池をつくった堀江文治・和三郎・文雄—

学習のねらい

- 干害から地域を守るために堀江親子が倉橋ため池をつくったことで、農業が発展していったことについて考え、自分の考えを適切に表現することができる。
- 倉橋ため池がつけられた経緯について資料を読み取り、見学で調べたことを基に、人に伝えるために分かりやすくまとめることができる。
- 水不足や干害に悩まされてきた地域をよくしたい、という堀江親子の強い意志によって倉橋ため池がつけられ、地域では農作物の安定した収穫ができるようになった。今もため池を守りながら農業が営まれていることで干害をなくすことができていることや、現在では防災ダム役割や桜井市内の上水道にも利用され自分たちの生活にも結びついていることを理解することができる。

郷土の資源について

桜井市の降水量は、米作りに必要な年間降水量を大きく下回り、水の確保が長年の課題であった。1924年の干害でほとんど米が収穫できなかったことで、倉橋ため池が造られることとなったが、戦争の影響もあり、完成までに18年間かかった。

現在では、ため池の水は、農業用水のみならず、飲用水にもなり、桜井市の農業の発展や地域の人々の生活と大きく関わっている。この郷土資源を活用することで、奈良盆地の水をめぐる歴史と人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えることができる。



堀江文雄氏の功績を讃える石碑



堀江和三郎氏「倉橋溜池六十年史」より



倉橋ため池

学習指導要領上の位置付け

第4学年 県内の先人の働き

学習の流れ

1. 桜井市周辺地図を見て気付いたことを話し合う。  
用水路がため池につながっていることを知らせる。

1 時間

2. 奈良盆地の水不足・日照りや倉橋ため池、吉野川分水、地域の人々の苦勞について調べ、話し合う。

7 時間

3. 倉橋ため池は地域にどのような影響を与えたのかを話し合う。(本時)

1 時間

4. 学習を通してわかったことを新聞にまとめて、全校に発信する。

1 時間

## 展開例（本時 9 / 10）

	学習活動	指導上の留意点（※評価規準）	備考
導入	○倉橋ため池をつくろうと計画した当時の住民がため池に期待したことを確認する。 ○反対に、不安に思っていたことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池をつくることになった経緯を想起させる。</li> <li>実際にあった反対意見などを基に考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真</li> <li>フラッシュカード</li> </ul>
	倉橋ため池は、その後の地域にどのような影響を与えたのだろう		
展開	○課題について話し合う。 ①自分で考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔や今の地域住民や農業従事者の立場になって考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> </ul>
	②全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事費や工事の大変さ、決壊の恐れ、日照りの時の苦労などの情報を適宜与える。</li> <li>ため池により安定した水や農作物の収穫量の確保ができるようになったことだけでなく、防災ダムとして整備されたこと、憩いの場としての公園整備、農閑期の上水道への利用等もされていることをおさえる。</li> </ul> <p><b>※倉橋ため池が与えた影響について考えている。</b></p>	
まとめ	○さまざまな意見がありながらも強い意志を持って倉橋ため池をつくろうとした堀江和三郎・文雄親子のおかげで農業が発展してきたことを確認し、次時の予告を聞く。 ○振り返りを書いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時の人々の不安や願いなどの思いを汲み取った上で、現在において恩恵を受けていることに思いを向けさせ、次時にこれまで学習してきたことをまとめた新聞を製作することを伝える。</li> <li>話し合い後の自分の考えや感想を発表させる。</li> </ul>	

### 発展的な学習の例

校外学習等における現地でのフィールドワークを基に授業で話し合いをさせるほか、校区のため池見学、同時期に建設された白川ため池等、吉野川分水など地域の郷土資料に活用することもできる。

### 参考文献・Web ページ

- ・「倉橋溜池六十年史」奈良県倉橋溜池土地改良区／倉橋溜池六十年史編集委員会／平成7年
- ・副読本「奈良県のくらし」P26～31 平成26年
- ・副読本「わたしたちの桜井市」P114～116 平成26年
- ・桜井市 HP <http://www.city.sakurai.lg.jp/kanko/kouenkokyoshisetsu/sansaku/kurahashi/index.html>

